



SENSHOJI 2020 YUKARI NEWSLETTER

since 1994

ゆかり通信

北海道千歳市清水町1-14 鶴賣山 千正寺

VOL. 274

TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883

令和 2 年 11 月 ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

KAKUHOZAN SENSHOJI

浄土真宗的「仏教語辞典」その15 た行 続き

沢庵漬け【たくあんづけ】

大根を使った漬物。「沢庵漬け」というネーミングの由来は、沢庵が考案した漬物だからという説と、沢庵が住職を務めた東京・品川の東海寺に徳川家光が訪れた際、沢庵が出した漬物をたいそう気に入り「沢庵漬け」と名付けたという説がある。



足袋が両方右【たびがりょうほうみぎ】

出先で足袋を履こうとしたら、両方右足用ということに気づいて絶望的な気分になるときがある。洗濯物を取り込んだ際、うっかり同じ向きの足袋を重ねてしまってタンスにしまうことで起きる事故である。出先がお寺だった場合、恥を忍んでその住職の足袋を借りることができるが、他の場でやってしまった時は靴下のままコソコソと動き回っている。



ダライ・ラマ【だらいらま】

チベット仏教ゲルグ派の法王の尊称。ダライ・ラマはモンゴル語で「智慧の海」という意味で、観音菩薩の化身とされている。なんども生まれ変わりながら人々を導くとされていて、現在のダライ・ラマは14世である。



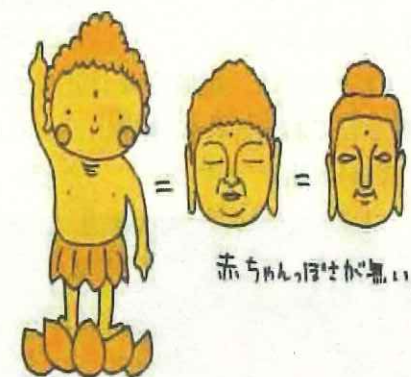
他力本願【たりきほんがん】

「他力」は阿弥陀如来の慈悲のはたらきのことをいい、「本願」は阿弥陀如来のあらゆる人を救うという願いであり、他力本願は「阿弥陀如来があらゆる人々を救うはたらき」のことをいう。他は「他人」ではなく、あくまで阿弥陀如来を指すので、「他人任せ」という意味にはあたらない。



誕生仏【たんじょうぶつ】

お釈迦さまがお誕生になったときの姿をした仏像。基本形は直立し右手は天を指し、左手は地を指して「天上天下唯我独尊」をあらわしている。顔つきはさまざまで、生まれた直後とは思えないようなベテランっぽい顔つきのものが多い。



歎異抄【たんにしょう】

親鸞の門弟である唯円が書いたとされている書。親鸞の死後、違う教えや考えが教団内に起こったことに対して、自身が親鸞の生前に聞いた内容を書き留め、異端を嘆いたもの。今も多くの人に読まれている書物。



壇蜜【だんみつ】

タレント。葬儀学校で学んだ経験がある。芸名は仏教用語からとっており、「壇」は儀式を行う場所、「蜜」はお供え物の意味がある。



本文：麻田弘潤著「気になる仏教語辞典」より